



今求められる取組：佐賀県

佐賀県の多文化共生施策の展開（地域づくり）

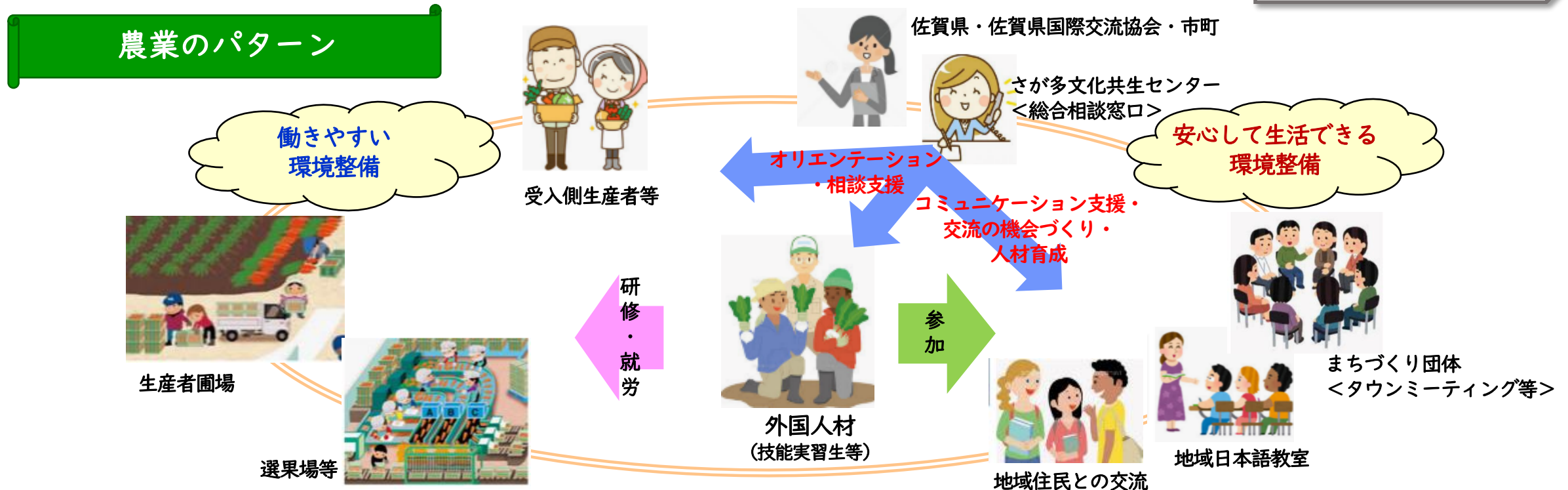
産業分野との連携による「地域との融合」の取組イメージ

<内容> 企業等における外国人材の受入・働きやすい環境整備の取組との連携
外国人材と受入側の双方へのコミュニケーション支援
地域日本語教室を核とした日本語教育、地域住民との交流機会の創出

<効果> コミュニケーションの円滑化、顔の見える関係の構築
⇒ 外国人材の地域との融合、優良事例として顕彰・県内への波及

主な課題

- ・企業等における外国人材の受入・働きやすい環境整備
- ・企業や地域（特にトップ層）におけるマインドの醸成
- ・地域日本語教室の未設置地域の解消・活動の活発化
- ・地域との交流の機会づくり
- ・地域における多文化共生に携わる人材の育成・配置



外国人材と地域の交流の優良事例

伊万里市黒川町

黒川町まちづくり運営協議会が中心となり、外国人と地域との交流を図っている。

中山間地の耕作放棄地を活用して、地元の農業者の助言や指導を受けながら、技能実習生が野菜づくりを行い、地元住民と技能実習生が交流を深めている。

野菜づくり以外にも、料理教室、スポーツ交流等の計画を進めている。



神崎市岩田地区

地元自治会が近隣で働いている外国人を地区の活動に招待し、地域の交流を図っている。

地区の運動会や盆踊り大会で、技能実習生が競技に参加したり、母国のダンスを披露している。



嬉野市

地域日本語教室は、日本語学習だけでなく、居場所、地域との交流の窓口としての役割を果たす。

嬉野市が運営する地域日本語教室「カフェこくさいじん」が核となり、外国人と地域との交流を図っている。

地域のイベントに参加することで露出を増やし、在住外国人と「カフェこくさいじん」についての理解醸成を進めている。





今求められる取組：佐賀県

産業分野との連携による地域づくり



“JA伊万里×伊万里市×佐賀県” 外国人と日本人が安心して暮らせる地域づくりのモデル事業

技能実習生受入れに当たり、JA伊万里職員や生産者を対象に、多文化共生に係る現状と課題、技能実習生を受け入れるための心得、「やさしい日本語」などを学ぶためのオリエンテーションを開催。

伊万里市が進めている地域日本語教室の取組や地元のまちづくり協議会の取組とも連携しながら、外国人と日本人が安心して暮らせる地域づくりを目指す。

働きやすい環境整備
マインドの醸成
交流の機会づくり
人材育成

地域における理解醸成と「顔の見える関係」づくり

“須古地区まちづくり協議会×白石町×佐賀県” 多文化共生の地域づくりのためのタウンミーティング

外国人と日本人が安心して暮らせる地域にしていくために、まちづくり協議会、企業、技能実習生等が参加するタウンミーティングを開催。

身近なところからの交流の機会づくりにより、「顔の見える関係」の構築を目指す。



地域における多文化共生に携わる人材の育成

多文化交流サポーター制度の導入



国際交流に関心のある人材を掘り起こしてリストアップし、イベント等での活動（お手伝い）からスタート。裾野を広げるとともに、参加者の関心の深まりとともに活動の幅を広げてもらい、将来的に地域のリーダーやコーディネーターとして活躍する人材の育成・配置を目指す。

多文化コミュニケーションプランナーの設置



地域おこし協力隊を活用し、地域に分け入って、ネットワークの構築及び交流の機会づくりの支援を実施。

地域を良くするマインド、よそ者の視点により、新たな価値を生み出すとともに、地域を担う人材の育成・定着を目指す。

外国人留学生の地域との交流の活発化による県内定着推進

日本人学生と外国人留学生のコラボによるイベント出展

外国人留学生と地域住民の交流機会の創出を目的にして実施。タイフェスティバル、国際フェスタに出展。

外国人留学生の地域との交流を進め、県内定着を目指す。

